

ほがらか島通信

特定非営利活動法人ほがらか企画

事務局発行 2018.6.1 NO31



事務所：武豊町長峰37-6 TEL：0569-47-7518

FAX0569-47-7519 <http://www.hogarakakikaku.com>

ほがらか畑



5月4日の家族企画は60名参加！

今回ほど毎日天気予報とにらめっこした企画は有りませんでした、当日はとてもさわやかな、最高の天気でした。



2年目になる「ほがらか畑家族企画」は参加者も16家族とスタッフ・ボランティアの総勢60名で、草取り・石拾い・ヤギや羊とあそびながら、後半は、ピーマン・パプリカ唐辛子を植えて、心地良い汗をかきました。

そして今年も休憩は、地元パン研究会さんの「手作りパン」を食べ、美味しい〜と笑顔が溢れていました。

ほがらか畑2年目は



ボランティアさんも増えました。

「ほがらか島人」は、ほがらか企画のボランティアさんが所属する登録団体です。現在高校生から大人まで10名近くいますが、コンサート等の楽器演奏・家族企画のお手伝い、それ以外にも色々な応援を下さる方がいます。

昨年から取り組んでいる農業についてはTさんが、ほがらか畑の耕起や草刈りまで、まだまだ素人の私たちにはとても強い味方です！



■ほがらか畑のボランティアさん募集中■

ほがらか畑の草刈りや種まき、管理等大豆や野菜等これから育てていく企画に是非ご協力ください。(詳しくは12ページ)



放課後等デイサービス

びーぼ だより



第4回ほがらかハート展

3/22～4/6 大垣共立銀行半田支店

4/12～4/19 武豊町中央公民館



(大垣共立銀行半田支店の様子)



2018年2月25日(日)

バリアフリーコラボ企画に

参加しました!

今年もバリアフリーコラボレーションにダンスチームのエスポワール・レインボーとステージ後方で歌う子ども達の企画で参加しました。

3か月前から「知多娘。」とのコラボに向けてダンスの練習をしたり、もう1曲の子ども達が好きなアニメの曲のダンスの練習もして、今年も2曲の発表の企画です。

特に歌は、半年前から1年生が送迎バスで歌っていた元気な姿を是非ステージで披露できたらと考え構成しました。

そして、2月25日に行われたバリアフリーコラボの当日初めて一緒に練習をした「知多娘。」でした。

練習も子ども達は張り切って行う子、緊張する子などさまざまでしたが、本番では、みんな頑張ってダンスを踊り、歌は緊張しすぎてしまいましたが元気に盛り上げてくれました。

第4回書道展の ほがらかハート展

2月からいよいよハート展へ向けて作品作りをスタートしました。

初めての書道の子たちもだんだん慣れてきて、自分から参加する姿が見られます。

昔話のような文を書いたり、好きなUNOから発展し英語を書く子等色々な書が出来ています。

また、昨年経験している子たちも昨年とはすこし変わった姿を見せ、自分の名前の頭文字を平仮名で書いていた子が好きな友だちの書を見本にしながら書いたり、なかなか取り組みに参加できなかった子が友だちと一緒に書くことに参加することがありました。



(中央公民館展示風景)

同年代の友だちのパワーはやっばりすごい!と日々実感しながら取り組みました。



子どもたちは、自分たちの出番が終わってから疲れがでていましたが、ゆっくり休憩をしたり、他の出演者のステージを会場で見学して楽しみました。



本番前の合同練習



知多娘とのステージ風景



ステージ後の集合写真

ありがとう先生！またあそぼうね！



2018年3月末で、びいーぼの職員からは2名退職しました。大学生職員と元教員の職員です。2人とも3～4年と長い間働いていただき子ども達と一緒に送る会を行いました。

はじめは卒業する職員に内緒に手紙を書いたり、プレゼント作りをしようと試みましたが、何人もの子が寂しい気持ちからか本人達に「本当にやめちゃうの？」と声をかけに行く姿もあり、そうしたことからオープンにして卒業する職員にプレゼントを作る時間を設けました。すると「完成するまで見ないでね！」と言って手紙を書いたり折り紙でプレゼントを作っていました。また、ある曜日では最後にみんなで遊ぼうと、ボーリング大会をしてあそびました。

各曜日みんなでプレゼントを渡し、記念写真を撮ってお別れしました。

.....

長い間、子どもたちと一緒に遊んだり学んだり沢山ありがとうございました。

お二人が、それぞれの地域でまた新しい出逢があることを祈念いたします。

.....



びいーぼ2018年度スタート!

■4月は名札を新しくしました。
名前を書いて、写真を撮る時、自分から「
こういうふうに撮って」と頼みに来る子や、
少し緊張する子など色々です ■



4月新年度

びいーぼ始まる!

全体を通して昨年以前から登室している子ども達の表情が一段とお兄さん、お姉さんになっているなど感じました。

びいーぼの生活やあそびでは春休み以前は書道の取り組みが多くあそびの時間が長く取れなかったこともあり、春休み以降はあそびの時間を増やしています。



玄関前のイチゴ畑からおやつ
のイチゴを選んでいきます。

また、それぞれが好きなあそびを行っていますが、外であそぶ子たちは気温が上がってきたこともあり、汗を流しながらサッカーやチャンバラごっこをしてあそぶ子、砂遊びや、ママゴトもよくやっていて子ども同士で誘い合う姿もあります。子ども達には、汗を拭くことや水分補給を充分取るよう指導しています。

更に室内遊びではUNOやトランプ、カルタであそぶ子や、おりがみや描画で工作をしてあそんでいます。スタッフにおりがみの折り方を教えてくれる子や、友だちやスタッフを誘い一緒にあそぶ姿もあり、友だち関係も広がっています。

おやつや昼食!

作っていますよ

おやつや土曜日の昼食作りには期待をしている子が沢山います。

今年度もいろいろなおやつの調理をしています。例えば、チョコシートを使い、チョコバナナを作ることや、初めての取り組みで曜日スタッフが提案をして、子ども達が選ぶ「おやつプレゼン」をしたりと、いつも通りではなく、おやつの作り方や材料を変えてみたり、決め方を変えるなどの工夫をしています。

また、昼食はびいーぼ菜園で採れたエンドウ豆を筋取り等の準備から子ども達と一緒にいき野菜炒めを作りました。

基本的にはスタッフが調理することが多いのですが、スタッフが調理しているところを見て、「手伝う!」と一緒にいる子や、おやつ作りの時間に友だちの様子を見ながら参加するのを決める子等があり、子どもたちそれぞれのペースで楽しんでいます。



ほがらか畑 一年目の実践

佐伯 亜希子

昨年1年を通して初めて「大豆栽培」をスタッフ、子どもたち、ご家族、ボランティアで体験しました。

これは、私たち法人が2020年開所を目指す、「農業と福祉」をテーマにした福祉サービス事業の準備の一環です。

～大豆栽培を通して広がった、人とのつながりを大切に～

第2期ほがらか事業計画に向けて、緑台6丁目にある約1,000坪の土地（借地）で福祉サービス事業の準備と地域との関係作りのため、畑として約150坪の大豆作り、土地全体の草刈り、種まきや収穫祭などの家族企画の行事などを行ってきました。

日々大豆栽培は、自然相手に計画通りにいかないことが多いことを実感しながらの一年でしたが、多くの学びがありました。

	内容	取り組み
2017 2月 3月 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・草取り ・草刈り ・石拾い ・ゴミ拾い ・職員研修 (21～22日・金～土) 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍬やつるはしなどを使い、畑全体の草、木を株から掘り起し、撤去を行った。 大きな石やゴミも多く、毎日畑に通い、作業する中で、地域の方と挨拶を交わしたり、隣の畑の方からカボチャの苗をいただいたりと、交流する機会が増えていった。 ・長野県伊那市にある障がい者施設を見学。生活介護など多機能型の施設になっており、農業を中心とした活動をされていた。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・家族企画1回目 (4日・木曜日) 草取り、石拾い ・耕耘機で土おこし ・カボチャ植え付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・70名近くの参加者で、草取りや石拾いを行った。集まった子どもたちや保護者の方々も、それぞれに草取りや石拾いを楽しみながら参加されていた。 ・カボチャやサツマイモの畑になる場所を耕耘機で起こし、肥料を入れるなど本格的に畑作業が始まり、ほがらか畑で最初の植え付けも行う。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会参加 (2日・金曜日) ・除草剤散布 ・耕耘機で土おこし ・肥料入れ ・大豆1回目種まき ・さつまいも植え付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・武豊町主催の第1回販売農家体験研修会に参加し、大豆の栽培方法、防除管理などをJAの方が講師になり、教えていただく。町内の大豆を作る農家さんとも顔合わせすることが出来た。 ・農業指導の都築さんにも指導していただきながら、大豆畑の除草、肥料入れ、土おこし、種まきを行う。種まきの次の日に雨が降り、4日後には一斉に発芽する。畝立てはせず、1メートル間隔で種まき。

7月	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り ・耕耘機で土おこし ・間引き ・土寄せ ・農薬散布 ・自然農薬散布 	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆の種まき、畝間の耕耘機での除草、間引き、土寄せなど、研修会で教わった日程通りに行く。しかし、7月は雨がほとんど降らず発芽率も悪く、マルカメムシなどの虫が大量発生し始める。 ・レーキでの土寄せ。除草も兼ねる。 ・畑周辺の草も日々成長し、大豆の管理と草刈りで忙しくなる。 ・虫の発生に伴い殺虫剤(農薬)を初めて使用。ハッカ油を薄めた自然農薬も散布し虫対策を行うが、大きな虫の減少にはなっていない。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り ・土寄せ ・自然農薬散布 	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の土寄せが終わり、開花が始まる。 虫の発生も続き、自然農薬を使用して様子を見る。(にんにく唐辛子)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り ・農薬散布 ・畝間の草引き 	<ul style="list-style-type: none"> ・依然虫の発生があり、再度殺虫剤を使用。 畝間に蔓性の草が増え、大豆にからんで伸び、手作業での除草にも時間がかかる。 ・台風発生のため、根元から倒れる大豆もあったが、倒れたままにしておき様子を見る。 枯れることなく成長していく。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り ・自然農薬散布 ・さつまいも収穫 ・研修会参加 (25日・木曜日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモの収穫をする。 こどもたちのおやつとしてみんなで食べる。 ・第2回販売農家体験研修会に参加。各生産者から現状の報告と、JAのアドバイザーからの全体的な報告。今年はどこも虫の発生が多く、7月に種を播いた大豆の発芽が悪く成長も悪いとのこと。収穫、脱穀・選別作業について、研修。 ・センダンで作った自然農薬での虫の防除も行う。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも収穫 ・草刈り ・大豆収穫 	<ul style="list-style-type: none"> ・残りのサツマイモを全て収穫する。 ・26日に大豆の初収穫。根から引き抜き、畑の上に円錐状に数十本をまとめて立て、乾燥させる。近所の方がアドバイスしてくれて、この形をとる。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・家族企画3回目 (2日・土曜日) 脱穀、ほうれん草種まき ・大豆収穫、脱穀 ・大豆乾燥 ・トラクターで土おこし 	<ul style="list-style-type: none"> ・80名以上の参加者で、地域の方も家族連れなどで足を運んでくれる。足踏み脱穀機での脱穀体験や竹ぼっくりづくり、ほうれん草の種まきと水やり、羊とヤギとのふれあい体験、芋煮鍋など、参加者みんなで楽しめた行事となった。 ・大豆の脱穀はJAから脱穀機も借用し、手作業と機械の差を実感した。 ・脱穀の後は、唐箕を使って莢やゴミを飛ばし、畑の横にあるトレーラーハウスに広げて乾燥させる。

12月		・収穫後の大豆畑を含め、約1000坪全てを利用者のGFがトラクターで土おこししてくれる。大豆の脱穀後の莢や根なども一緒に漉き込む。
2018 1月	・大豆選別 ・大豆等級検査 ・トラクターで土おこし	・手作業で大豆の選別をする。ある程度選別した後、JA阿久比にて選別機で、大・中・小・外の4つに選別し、JAに出荷となる。42.2kg。 その後、JAの大豆等級検査で、大・中が合格、小が格外となる。各サイズ30kg以下だったため端量出荷となる。
2月	・研修会参加	・担い手育成総合支援協議会研修会に参加。 HACCP義務化の講演や30年度から新たなコメ政策の話聞く。
3月	・草刈り ・次期大豆予定地 耕転機で土おこし	・畑周辺など全面的に草刈り。 ・6月に始まる大豆の栽培予定地を区画割し、耕転機で土おこし。

(まとめ)

初めてのほがらか畑の一年が過ぎていきました。

大豆に始まり大豆に終わった一年でした。前の職場で携わってはいたものの、新しい場所での初めての大豆栽培。岡崎の農業大学校に研修生として通い、農業のことを学びながらの大豆栽培でしたが、わからないことばかりの中、農業指導の都築さんをはじめ、ご近所の方、学校の先生、産業課の方、JAの方、沢山の方からアドバイスをいただきました。

このアドバイスをもらえる関係作りを少しずつ作っていったことが、一番の成果だったと思います。虫の発生や台風、日照りなど予想していないことが次々に起こり、農業の厳しさも、現実も経験しました。頭を悩ますことの大事さも知りました。

最近では、畑で作業していると顔馴染みの方も増えてきて、声をかけたり声をかけてもらったりすることも多くなりました。

いつも見られていることを意識し、栽培技術を高めながら、子どもたちやそのご家族の方々を巻き込みながら土や草、風や空を身近に感じてもらい、ほがらかの日常に農業がなっていくように、二年目の今年も取り組んでいきたいと思っています。



12月収穫祭上空から撮影



2017年度 ほがらか企画事業総括・決算



2017年度総括・2018年度方針
総会が去る5月17日に行われました。

総括では、設立から5周年が経ち、「これかの5年10年20年を誰が誰と歩んで行くのか！」そんな問いかけをしながらまとめました。

以下はその抜粋です。

・・(中略)・・・・・・・・・・

しかし一方では大変残念なことに、私たちを取り巻く社会や制度は、「報酬改定」「制度改正」など、決して“誰もが住みよい社会”に向かっている様には感じることが出来ません。

では指をくわえて見ているのでしょうか？・・イエイエ違います。私たちには思いや願いを形に出来る「実践の場」があります。そしてそれを支えてくれる、利用者・家族・関係者・ボランティアの方々があります。そしてその輪は着実に拡がり増えています。

今私たち日々仕事を創る職員と利用者・ご家族・支援者・地域の願いや思いを束ね、ほがらか企画が出来る事を描き歩む事が、5年目の到達であり課題だと思えます。

最後に、今回の総括は、放デイと農福それぞれ責任を担う職員がまとめ、第2期ほがらか事業計画改定版の具体的な事業計画は常勤職員集団で学習しながらまとめました。ほがらか企画はこのまとめを基に「ゆっくり・じっくり・ほがらかに」今年度実践を進めます。是非皆様のご意見ご要望とご支援ご協力をお願いいたします。

・・・・・・・・・・・・・・・・

2017年度事業活動収支決算書	
2017年4月1日～2018年3月31日	
経常収益	
正・賛会費 24+17	85,000
寄付金	171,677
介護報酬	20,558,147
利用者負担金	1,449,713
その他収益	806
経常収益 計	22,265,343
経常費用	
事業費	
人件費	14,240,512
その他経費	6,199,577
管理費	
人件費	216,000
その他経費	26,087
経常費 計	20,682,176
当期経常増減額	1,583,167
経常外収支合計	-77
当期正味財産増減額	1,583,090
次期繰越正味財産額	8,286,271

貸借対照表 2018年3月31日現在

資産の部		負債・正味財産の部	
現金・預金	7,250,193	未払・リース・前受	2,426,017
売掛金	3,405,659	短期借入金	1,000,000
未収金	24,809	預り金	148,075
流動資産合計	10,680,661	負債の部合計	3,574,092
有形固定資産	1,080,082	前期繰越正味財産額	6,703,181
固定資産		当期正味財産増減額	1,583,090
合計	1,179,702	正味財産の部合計	8,286,271
資産合計	11,860,363	負債・正味財産合計	11,860,363

*尚、資料詳細は当法人ホームページを
ご覧ください

<http://www.hogarakakikaku.com>

2018年度事業方針・予算

1) 基本方針 (抜粋)

2018年度より

この法人は、育ちの不安・遅れや、障害のある子どもとその家族等を対象に、地域における子育て・療育・余暇・文化活動等の支援を行う。また、農業をはじめとする働く場や生活づくりを通じ、障害者とその家族が、地域で暮らす支援や仕組を創る。更に、関係機関や地域住民との連携・参画・啓発を通じ、誰もが身近な地域で、安心・安全・楽しくゆたかに暮らし、一人一人のほがらかな笑顔輝く地域社会の実現に寄与することを目的とする。

以上これまでの概ね18才までを対象としていた事業から、大人までを対象とした事業を取り組む事を基本方針とする。

さらにそれを実践していくにあたり、「ゆっくり・じっくり・ほがらかに」をテーマにします。

特に、放課後等デイサービスびいーぼでは、自立に向けた生活づくり、子どもたちと創るあそび、仲間づくりとしての集団づくりを課題として、日々の生活やあそびづくり、行事づくりを取り組む。

「父母による送り」だから出来る日常的なコミュニケーションの場と家族企画だから出来る兄弟家族との交流等を大切に事業を取り組んでいく。

また、法人将来計画の第2期ほがらか事業計画推進3年目の具体的な課題を、丁寧に取り組んでいく。

.....

2) 2018年度予算

■大幅な収入減も予想される為、収入維持の努力と共に、特に運営費の全科目について節約できる様日々の予算執行の点検を行い、150万の当期財産増を課題とする。

2018年度事業活動予算	
2018年4月1日～2019年3月31日	
経常収益	
正・賛会費	105,000
寄付金	220,000
介護報酬	20,000,000
利用者負担金	1,400,000
その他収益	1,200
経常収益 計	21,726,200
経常費用	
事業費	
人件費	13,950,000
その他経費	5,240,600
管理費	
人件費	0
その他経費	786,000
経常費 計	19,976,600
当期経常増減額	1,749,600
当期正味財産増減額	1,749,600
前期繰越正味財産額	8,286,271
次期繰越正味財産額	10,035,871



第2期ほがらか事業計画改定について

■第2期ほがらか事業計画推進3年目を踏まえた計画改定について

法人の現状 (2018.5.1)

第2期ほがらか事業計画開始(2016.5)から2年が経ちました。第6回法人総会(2018.5.17)では、法人定款の目的を「育ちの不安・遅れや、障害のある子どもとその家族等を対象に、地域における子育て・療育・余暇・文化活動等の支援を行う。また、農業をはじめとする働く場や生活づくりを通じ、障害者とその家族が、地域で暮らす支援や仕組を創る。更に、関係機関や地域住民との連携・参画・啓発を通じ、誰もが身近な地域で、安心・安全・楽しくゆたかに暮らし、一人一人のほがらかな笑顔輝く地域社会の実現に寄与することを目的とする。」に変更を採択されました。

これは、単に対象者を広げた「福祉サービス」の拡大ではなく、ほがらか企画が「障害児者・家族の願いを、地域課題と結びつけながら取り組んでいく」大きな方向性を示したものであり、一層その課題に確信を得ました。

(事業達成に向けた基本課題)

- A) 2019年度オープンに向けた事業計画の具体化と、
関係機関との協働による準備
- B) 事業開所準備運営資金計画
- C) 人材育成計画と人材確保
- D) 「農業と福祉」・「地域共生社会」等、国の福祉情勢の把握と課題整理



そして、具体的な成果としては、福祉課・産業課・当法人で重ねてきた「農福検討会」や、利用者家族・ボランティア・支援者等と一緒に取り組んでいる、ほがらか畑(借りた土地)の大豆栽培等、行政をはじめとする支援や協力・協働の具体的な活動や連携が生まれ、更には、スタッフ・理事の研修や専門研修(県農業大学1年間)や管理責任者資格取得なども進みました。

一方の具体的な施設開所準備は、施設建設又は既存施設改修の両方から探している段階ですが、今のところそれぞれ数か所の候補地があり、これらは地域や関係者等の方々との繋がりからであり、中にはグループホーム等につながる物件もあり、武豊町の地域で暮らす将来の姿も含めた「場所探し」が大切であることも感じました。

以上の到達を踏まえ、

事業内容はそのままに、当面する事業開所時期を2019年4月から2020年4月に変更しより丁寧な準備と具体的な事業開始に向け取り組んでいきます。

最後に、私たち法人はこの2年間、第2期ほがらか事業計画推進を通じて生まれた、新しい繋がりや出会いを束ね、5年10年20年先を見据えながら取り組んでいきたいと思っております。

1-5月ほがらか活動報告



1月

- ・ 4日仕事始め
- ・ 10日税理士打合せ
- ・ 11日ほがらか畑耕作
- ・ 17日JA大豆・商工会賀詞交換会
- ・ 18日カリキュラム会議
ほがらかハート展打合せ
- ・ 19日社労士打合せ
クリーン工房・日本福祉大学説明会
バリアフリー実行委員会
- ・ 20日ボランティア研修会
- ・ 22日東海農福連携会議
- ・ 23日大豆品質検査
- ・ 29日武豊社会福祉協議会学習会
- ・ 31日農業指導・

2月

- ・ 3-4日自主研修(大津) ・ 6日武豊町部会
- ・ 7日放デイ連絡会 ・ 11日dream☆姫練習
- ・ 14日自立支援協議会
- ・ 15日カリキュラム会議
- ・ 16日社労士打合せ
産業課研修・バリアフリー実行委員会
- ・ 19日とこなめ社協 ・ 20日中村建築打合せ
- ・ 21日理士打合せ ・ 22日2018学習会・
- ・ 23日バリアフリー準備
- ・ 24日バリアフリーコラボ当日



3月

- ・ 2-3日高校生合宿・6日職員送別会
- ・ 8日武豊町手をつなぐ育成会・めんどり文庫
- ・ 9日dream☆姫練習・10日東海市手話サークル
- ・ 11日武豊町ふくしまつり
- ・ 13日ほがらかハート展打合せ
- ・ 14日町教育委員会実務者会議
- ・ 15日放課後等デイサロン・18日里山ほがらか
- ・ 19日日本福祉大学打合せ
- ・ 20日愛知県集団指導・22日ほがらかハート展
- ・ 29日武豊町社会福祉協議会評議会

4月

- ・ 1-2日新年度準備
- ・ 6日イオンイエローレシート寄付贈呈式
- ・ 10日賃貸契約継続手続き
- ・ 12日ほがらかハート展中央公民館開始
- ・ 14日カリキュラム会議・21日母親交流会
- ・ 23日武豊町生活課訪問・事業所見学受入
- ・ 28日武豊町ボランティア連絡協議会13回総会
- ・ 30日ほがらか畑

5月

- ・ 2日山海公民館申込 ・ 3日5/4準備
- ・ 4日ほがらか畑草取り家族交流会
- ・ 5日ボランティアさんによるほがらか畑耕起
- ・ 8日武豊町教育委員会実務者会議
- ・ 10日愛知県所轄相談
- ・ 11日個別支援計画モニタリング開始
- ・ 14日税理士打合せ
- ・ 17日ほがらか企画総会(ゆめプラ創作工房)
- ・ 18日社労士打合せ
- ・ 20日理事会(ゆめプラゆめひろば)
- ・ 22日武豊町手をつなぐ育成会総会
あおぞら園打合せ
- ・ 23日シロアリ業者・24日社会資源開発部会

感謝・お礼



■ 2018年1月1日～5月末までのご支援・ご協力下さった方々のご芳名を掲載し、報告・お礼とさせていただきます。(順不同・敬称略)

岡野久治・新原由香・山口恵子・田口弘樹・石黒操子・新宅あかね・出口敬子
久野遥雅・dream☆姫・イオン・匿名他

*尚・イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

2017年度分として5,500円分のギフトカード寄贈頂き、

子どもたちのブロックおもちゃを購入致しました。

2018年度も継続中です！毎月11日の企画です。

沢山の方々のご支援にお礼申し上げます



・ ・ おねがい ・ ・ ・ ・ ・

その① ・日用品やおもちゃ・絵本等のご寄付をお願いします。

子どもたちが生活する場に必要な品々が揃ってきましたが、タオル、食器、おもちゃ、絵本等また、「ほがらか畑」では、脱穀機・農機具等を探しています。

その② 農業に興味や関心、従事されている方・

「農業と福祉」の準備ボランティア募集中です！

今現在は、武豊町内に「ほがらか畑」1,000坪の畑を借りて「障害者の働く場」づくりの準備を行っています。(2020年度開所予定)

そこでこの事業の担い手スタッフや、現在のほがらか畑で育てている大豆栽培などの、草取り・耕作・栽培・生産など一緒に関わって下さるボランティアやスタッフに興味のある方を大募集しています。

その③ ■ほがらか企画ボランティア募集今後の予定■

日 程	内 容	予 定
6月24日(日)	ほがらか畑大豆種まき	9:00～14:00
7月14日(土)	ほがらか畑草刈等	9:00～14:00
7月21日(土)	山海家族企画・会場準備等	9:00～16:00
7月29日(日)	ほがらか畑草刈等	9:00～14:00
8月11日(土)	山海家族企画・会場準備等	9:00～16:00
8月19日(日)	ほがらか畑草刈等	9:00～14:00
9月 8日(土)	ほがらか畑茶豆収穫	9:00～14:00

詳しく内容や参加時間の相談等お問合せ：0569-47-7518(佐伯)